

WELL 通信



中面特集 / ウエルの今を深掘り!

**事故を防止し、
人と地域の安全を守る
「こどもミュージアムプロジェクト」
に参画**

【毎年恒例のお餅つき】
年末には、利用者様にお餅をついていた
だく「餅つき大会」を行います。終了後は、
お餅の代わりに、白玉粉にお豆腐を混
ぜたお団子にタレやきな粉を付けて召し
上がっていただく予定です。



秋には屋上菜園で芋掘り。収穫したさつま芋で
スイートポテトを作りました。

厨 房 だ よ り

自由に食べられる喜びを
好きなものを
好きなものを感じただけるように
工夫を重ねています。



日々のお食事は、ウ
エル清光会のブログ
でも紹介しています。
ぜひご覧ください。



清 豊 苑

社会福祉法人
ウエル清光会



事業所 PICK UP | 住宅型有料老人ホーム 庄本とよなか



お一人おひとりを家族のように想う気持ちで きめ細やかにサポート

住宅型有料老人ホーム 庄本とよなか

大阪府豊中市庄本町1丁目7-26 06-6331-3737 対応エリア: 豊中、池田、尼崎

『私たちがお迎えします!』(左から)野々村拓哉、工藤純子、比嘉来海

時間をかけた

丁寧なケアを

庄本とよなかでは、ケアマネさんとの連携はもちろんスタッフ間での情報共有を密に行い、入居者様お一人おひとりの状態に応じて、時間をかけて丁寧にケアを行っています。例えばお食事の際、水分でむせてしまう方にはゼラチンで固めた栄養剤をお食事前に摂取いただきます。水分を摂っていただけるよう工夫することで、嚥下を促して誤嚥性肺炎を防ぐとともに、その後のお食事をしっかり摂っていただけるよう

になります。もちろんお食事は、できたての手作り料理。入居者様からも好評で、ほとんどみなさんが完食されています。

体を動かしていただき

ADLの維持・向上を

日々の介助では、入居者様の身体機能の維持を重視しています。職員が手をお貸しするのは簡単ですが、それでは体が動かなくなってしまいます。時間がかかるとしても、できることはあってご本人に行ってもらうことで、残存機能の低下を防いでいます。

また、居室に物が増えてきた時は、ご本人やご家族の了承を得て車椅子が動きやすいように一気に配置換えるなど、入

居者様が居心地良く、安全にお過ごしいただける空間づくりを心がけています。

入居者様にとって 心が落ち着く場所に

ご家族がおられない方には、書類の手続きやご葬儀なども全てサポート。経済的にゆとりのない方にも、親を想う気持ちで節約や工夫を重ね、生活を支えています。



こうしたきめ細かなケアが功を奏しているのか、病院を退院された時は寝たきりだったのに、当ホームに入居されると精神状態が落ち着かれ、今ではご自分で車椅子を漕いで普通に生活されている方も。ケアマネさんを通じて「よくみててくれる」ご家族が喜んでいますよ」とご報告いただくこともあります。これからも入居者様をご家族のように想う気持ちで、きめ細やかなサービスを提供いたします。



入居者様の過去から現在までの写真を貼り、エピソードを添えたアルバム作りに取り組んでいます。写真はイベントごとにどんどん追加しています。

ウエルグループ

豊中市

- 清豊苑 [特]
- 利倉清豊苑 [地/デ/グ/小/定]
- 美豊苑 [特/ケ]
- 刀根山美豊苑 [地/デ]
- 輝豊苑 [デ/グ]
- ウエルケアプランセンター

ウエリスト [小/デ]

- 社会福祉法人香聖会 宙豊中 [地/グ/小]
- 庵とよなか庄本 [有]

宝塚市

- 宝塚清光苑 [特/デ/グ/小/ケ/定]
- 芦屋市
- 陽光苑 [地/デ/グ]
- 西宮市
- パセム西宮 [有]
- ケアプランセンター西宮清光苑



事故を防止し、人と地域の安全を守る

ウエル清光会では、株式会社宮田運輸様が取り組む「じどりミュージアムプロジェクト」に参画し、送迎車の事故防止に努めています。安全運転を促すお子さんの絵がラッピングされた送迎車があたたかい気持ちを生み、事故防止への意識の高まりが職員一人ひとりから法人全体へ、そして地域社会へと波及しています。

傷一つないきれいな車で
気持ちよくお迎えしたい

Q 取り組みのきっかけは？

佐藤 .. 当法人の理事長である小池の両親が介護施設を利用されていました際に、「傷の付いた送迎車で迎えに来られたら、家族は心配で仕方がない」と実感したそうです。そこで当法人は、傷一つないきれいな車輌で利用者様を送迎することを決め、2019年に事故撲滅を目指して「こどもミュージアムプロジェクト」に参画しました。

森井 .. 介護業界では、車の運転が業務の一つです。気持ちよく送迎し、利用者様に安心していただきたいと思つて います。

Q 具体的にはどのようなことを行なっていますか？



広域型特別養護老人ホーム清豊苑
副施設長／森井佐知子(左)
デイサービスセンターウエリスト
管理責任者／佐藤広樹(右)

森井・当法人が運営する仁川ヴエル保育園の園児や職員のお子さんから、事故防止や安全運転を促すメッセージ入りの絵を募集し、集まつた約150作品を送迎車にラッピングしました。送迎車の入れ替えの際にも、新しい作品をその都度ラッピングしています。

業務が忙しい時や余裕がない時はどうしても慌ててしまいがちですが、職員には、車に乗る前にお子さんの絵を見てもらい、心を落ち着けてほしいと思います。

佐藤・車輛を擦つて傷をつけてしまう事故はやはり一定確率で発生してしまってますが、小さな傷でもすぐに修理に出すようにしています。修理代はかかってもそこは徹底していますね。「これくらいはいいか」という気持ちが次の事故を招いてしまいますから。

9月には万博公園で開催された「ことりもミユージアムフェスタ2022」に参加し、車両を展示して、地域全体に對して交通事故防止を啓発しました。



「こどもミュージアムフェスタ2022」の人気アンケートでは、数ある車両の中で当法人が一位に！

佐藤 絵をラッピングしていると地域の人からの注目を集めやすいので、自らの行動に責任と自覚が生まれ、自然と「共感」や「連帯」が生まれ、地域社会が活性化する。これが、アートの力だ。

と「無理な運動はいけない」と気持
ちが引き締まりますね。

取り組みの根本は 法人の理念「六方笑顔」

佐藤..当法人では、理
顔」を掲げています。六
分自身、②家族、③職

交通事故防止の意識

森井：車輪の両サイドやバックに2ヶ
3作品をラッピングしているので、乗
車時に必ず目につきます。中には職員
自身のお子さんやお孫さんが描いた絵
もありますから、ドライバーの意識も
モチベーションも確実に高まっている
と思います。日々の積み重ねで、車を
傷つけるような事故件数も減ってきて

森井：職員のご家族からも評価をいただきました。取り組みを知った方が「会社の理念、考え方、熱意に感動した」とSNSに投稿してくださいました。それだけでなく、当法人の理念にもいたく共感してくださいました。まさにこの理念が、プロジェクトに参画する根本の考え方です。

うに読み返し、日々の業務の中でも六方笑顔を常に意識するようになります。



職員のご家族が取り組み
に共感して発信いただいたSNSの投稿